

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1113	人権教育推進拠点づくり事業	01	一般会計		
38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	101	教育費		
		05	社会教育費		
		08	教育集会所費		
		102	教育集会所事業経費		
		03	人権教育推進拠点づくり事業		
担当部課名	いがまち人権センター		細目	102	教育集会所事業経費
作成者氏名	山下 豊	連絡先	45 - 4482	細々目	03

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
教育集会所の対象とする住民		各種教室等事業を通じ地区内小・中学校の低学力の克服が図れる。また、地域住民が自らの活動を行い、より一層の活動の推進が図れる。				
本年度事業内容	人権教育推進のために教育集会所を拠点とし人権教育啓発活動さらには、人権についての相談を行い差別を許さない住民連帯や行動力・実践力を養う。 柔道教室 ・エアロビ教室 ・音楽教室 ・小学生地区学習会 ・中学生地区学習会 ・小中学校内同和教育・解放学習会指導委託事業 ・団体育成事業					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員			
正規職員 (人)	0.6	0.6	0.6
人件費合計(A)	4,320	4,320	4,320
支出内訳(千円)			
事業費(B)	3,633	3,240	3,076
報償費	1,131	1,002	1,002
委託料	1,500	1,350	1,200
需用費	107	96	105
その他	895	792	769
合計(A+B)	7,953	7,560	7,396
財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	7,953	7,560	7,396
上記 ~ に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
柔道教室対象者数	人	7	8	9			
エアロビ教室対象者	人	6	7	8			
音楽教室対象者	人	10	11	13			
小学生地区学習対象者	人	57	49	42			
中学生地区学習対象者	人	22	27	31			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
各種教室等の対象者(参加者数)	各種教室の参加対象者を促し、地域住民が自らの活動交流を行い、より一層の人権文化の向上につなげることから指標とした。		102 目標 ()	102	103
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

地区学習では、参加対象者の少子化現象に伴い将来は、減少傾向となるが特に若年層に学習の機会を提供し、人権意識の向上を図り、部落差別をなくす人材の育成に努める。
--

評価	必要性	4	地域における同和問題をはじめあらゆる差別の解消に向けた教育活動の推進、生活、環境の改善など様々な活動を通して、人と人とのつながりを大切にし自立促進に向けた取り組みを推進するため各種教室活動を継続していく。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		